備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

（平成17年度事業）

施策名（小項目）	水資源開発と水利用	コード	担当課	上下水道部水道工務課
		01-01-08	電話	０８６９－６６－９７９３

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系		
	大項目（基本目標）	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目（基本施策）	生活しやすいまちづくり

① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	水道使用者41,311人に対し安定した安全な水を供給できるよう、水資源の確保と資源施設の適正管理を行う。
② 市民ニーズ (反応、問合せ等)	安全でおいしい水の供給
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市は、一級河川の吉井川と金剛川を抱え、水源としては恵まれた環境にあるが、水道は市民の健康で快適な生活と経済社会を支える根幹的な施設であり、将来にわたる安定した水源を確保する必要がある。
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	・ 水源の安定確保 ・ 節水対策 ・ ・ ・ ・ ・

⑤ 施策成果指標の検討・設定（基本目標・基本施策・施策意図から検討する）

意図・推進内容のキーワード	考えられる施策成果指標名	順位
安全な水の確保	良質で安定した水源の確保と水質汚染への対応強化	2
安定した水の供給	漏水等点検業務の強化と老朽施設の計画的な更新	3
効率的な施設管理	効率的な運転システムの構築と民間技術の活用	4
水質管理の徹底	水質管理目標の設定と適正管理	1

施策に対する成果指標名		単位	評価年度 H17			目標値 H23	目標値 H28	ベンチマーク	指標の説明
1 水質管理	目標	項目	50.0			ー	ー		水質管理基準項目
	実績	項目	50.0					ー	
	達成率	%	100.0						
参考1 水源余裕率	目標	%	162.0						（確保している水源水量÷１日最大配水量）－１
	実績	%	162.0					ー	
	達成率	%	100.0						
参考2 自己保有水源率	目標	%	89.7						岡山市参考 自己水源量÷全水源量
	実績	%	86.1					89.7	
	達成率	%	96.0						
参考3 配水池貯留能力	目標	日	1.5						坂出市参考 配水池総容量÷１日平均配水量
	実績	日	1.1					1.5	
	達成率	%	73.3						

市民意識調査結果	施策名	調査年度		H18	H19	H20	H21	H22
		重要だと思っている市民の割合	%					
		満足している市民の割合	%					

⑥ 施策構成事務事業の評価

	施策を構成する事務事業名（ ）はその人件費（単位：千円）	事務事業評価結果 A～E (高～低)	細事業一覧表	直接事業費（単位：千円） 17年度事業費			優先順位 (A～C)
1	水源管理事業 (12,451)	B	水源施設維持管理事業	1,292			B
			岡山県広域水道企業団運営経費等負担金	8,581			B
			吉井川坂根堰管理負担金	5,997			B
			八塔寺川ダム管理費等負担金	2,989			B

この施策に要した費用（人件費込、単位：千円）	H１７		
	31,310		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
岡山県広域水道企業団	水源の確保と水質管理	県内の水道用水供給事業に関する事務を共同処理する目的で設立された企業団であり、水源開発事業や水道水質共同検査等を実施している。

⑧ 施策の評価

項 目	5：非常に高い 4：高い 3：どちらともいえない 2：低い 1：非常に低い 一次評価 評価	一次評価 判断理由	二次評価 評価	二次評価 判断理由
1 目的達成度	4	良質で安定した水源の確保により、安全で衛生的な水道水の供給が行われた。	3	配水池貯水能力が低い
2 事業構成の適当性	3	水質管理の高度化へ向けての施設整備と適切な水質管理体制の構築が必要である。	3	同左
3 施策の有効性	3	水源の有効利用が必要である。	3	負担金が主であるが、水資源を確保するために必要である
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	震災や水質汚染等多様化する住民ニーズに応えるため、民間技術を導入しながら水道施設の効率的な運転・維持管理と適切な水質管理を行う。また、広域水道企業団からの受水権（5千㎥／日）、八塔寺川ダムの水利権（２千㎥／日）については、今後の水需要が減少傾向にあることから、実態にあった見直しを行う必要がある。		同左	
担当部長コメント	水資源の確保を総合的かつ効率的に行ないながら、より良質で安全な水の供給に努める必要がある。			